

# イシマキガイ

*Clithon retropictus* (Martens)

オキナエビス目アマオブネ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

## 選定理由

本種は回遊型であり、幼生の生息環境である汽水域の生息環境が悪化しているため。

## 形態

殻はほぼ球形で、成貝では殻経15~20mmになる。成貝では殻頂部が浸食されていることが多い。殻表面は緑褐色から黒褐色で微少な三角形模様が密にある。

## 国内分布

房総~新潟県以南のほぼ全域に分布。

## 県内分布

川北町・手取川、志賀町（富来地区）、七尾市、能登町、珠洲市。珠洲市では河川に通じる水路内で本種が多産する例が知られている。

## 生態

汽水域上部~淡水域に生息。産卵は岩礫上やコンクリート表面で行われ、卵嚢は長径1~2mmの楕円形。孵化した幼生は一度海に下り、幼貝となって遡上してくる。

## 生息地の条件

幼生の生息環境である汽水域と産卵基質となる石などの存在。

## 生存の危機

工事による汽水環境の消失、水質悪化。(A)

## 特記事項

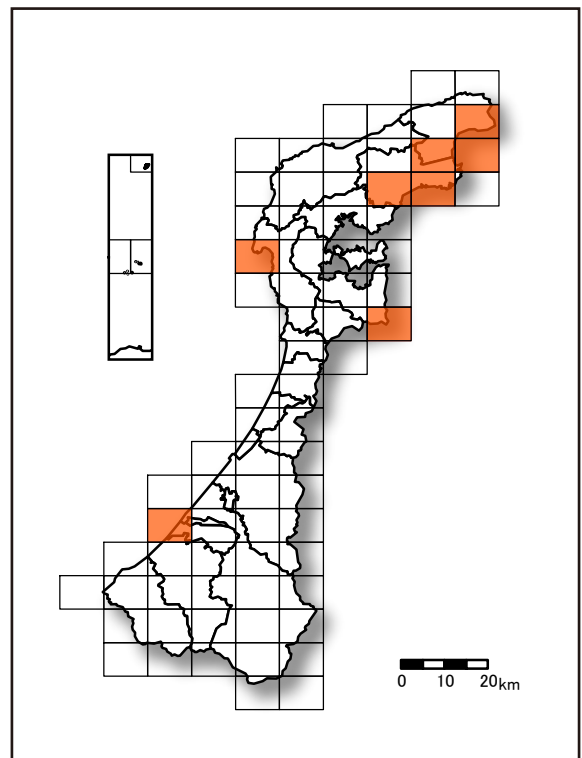
「水産庁レッドデータブック」（1998）では「減少種」にランクされている。

## 参考文献

増田修・内山りゅう 2004. 日本産淡水貝類図鑑②汽水域を含む全国の淡水貝類. 240pp. ピーシーズ. 東京.  
西村三郎 1996. イシマキガイ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料(Ⅲ): 3-7, 79. (社) 日本水産資源保護協会.



写真提供者: 石原一彦



県内の分布